

TAKE FREE
2022.08



photo: Ken Ohki

とやまごころ

— 日本橋とやま館たより —

あなたの知らない富山が誇る
ヒト・モノ・コトの魅力が見つかるフリーマガジン


NIHONBASHI
TOYAMA

300年を超える歴史を誇る

幻想的なお祭り

おわら節の起源は元禄15年(1702)、加賀藩から下された「町建御墨付」を八尾の町衆が町の開祖・米屋少兵衛から取り戻した祝いに三日三晩歌舞音曲無礼講の賑わいで練り歩いたことが始まりとされており、やがて二百十日の風の厄日に風神鎮祭を願う「風の盆」と称する祭りに変化したと言われています。時代とともに進化してきたおわらですが、特徴は哀調の音色を奏でる胡弓、その音色に合わせて踊る優美な舞。この地でしか味わえないその幻想的な風景をたたえ、「日本で一番美しいお祭り」と称する人もいます。



越中八尾の 魅力

#02

「日本の道百選」にも選ばれた 坂のまち八尾の懐かしい街並み

八尾の市街地を流れる井田川沿いから眺めると、整然と高く積み上げられた石垣とその上に軒と軒がひしめくように立ち並ぶ町並みを見ることができます。高さ約30mの石垣の坂道を上ると、ゆったりとした時間が流れる古き良き日本の街並みがお出迎え。最南部に位置する諏訪町には石畳の道が舗装され、その雅趣に富む街並みから「日本の道百選」にも選ばれています。



【表紙の紹介】「越中八尾おわら保存会」にて

昭和4年に発足した「越中八尾おわら保存会」。音楽祭や万博など国内外の催しにも招聘されてきた背景には町民の皆さんが練習と研鑽を重ねてきた事実があります。「通りがかった町の人が足を止めて、踊り子さんに声をかけていらっやいました。この冊子の撮影と分かつと、皆さん誇らげで、おわらが地域の方々に愛されていることを実感しました。(フォトグラファー:太木賢)」



越中八尾の 魅力

#03

八尾の繁栄を象徴する 豪華な曳山が 常時鑑賞できる 「八尾曳山展示館」

1740年代から続く八尾の春の祭礼行事「曳山祭」は生糸、養蚕、和紙等の生産と取引で栄えた八尾商人の繁栄を象徴するお祭りです。八尾曳山展示館では、雅やかな曳山囃子とともに常時3台の曳山を鑑賞することができます。曳山は高さ7.5m、重さ約4tの二重構造で、井波の彫刻、城端の漆工、高岡の彫金など当時の名工の技が惜しげもなく施され、見応え十分。



【お問合せ】越中八尾観光協会 076-454-5138

洗練された踊りと
哀調の音色が彩るお祭りが
3年ぶりに開催

江戸時代、街道の拠点として売薬や養蚕、和紙の製造等で栄えた富山市八尾(やつお)町。当時の面影を残す町並みを練り歩く「越中八尾おわら風の盆」が、3年ぶりに9月1日・2日・3日に開催されます。風情のある町を訪れるには絶好の機会と言えます。

日本橋とやま館

営業時間

ショップフロア 10:30~19:30
和食レストラン 11:30~14:30
17:00~22:30(日・祝~21:00)
バーラウンジ 11:00~21:00
年中無休(年末年始、ビル施設点検日等を除く)

営業時間やイベント内容については変更となる場合があります。最新の情報については、日本橋とやま館の公式サイト等でご確認ください。

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル1階

ショップフロア(物販) 03-3516-3020
和食レストラン「富山はま作」 03-3516-3011
その他(イベント等) 03-6262-2723

電車でのアクセス

東京メトロ
銀座線・半蔵門線「三越前」駅:B5出口より徒歩すぐ
銀座線・東西線「日本橋」駅:B9出口より徒歩3分

都営地下鉄
浅草線「日本橋」駅:B9出口より徒歩3分

JR
総武本線「新日本橋」駅より徒歩8分
「東京」駅より徒歩8分

バスでのアクセス

メトロリンク日本橋(無料巡回バス)
「地下鉄三越前」駅下車 徒歩1分
※東京駅八重洲口「第二鉄鋼ビル」よりご利用いただけます。

公式サイト



公式サイト更新中!
さまざまな情報を発信しています。

日本橋とやま館

公式SNS更新中!

facebook
@toyamakan.jp

Instagram
@toyamakan

